

函 教 文

令和4年(2022年)9月28日

総務常任委員会委員 各位

教育委員会生涯学習部長

参考資料の配付について

このことについて、下記資料を別添のとおり配付いたします。

記

- 1 縄文世界遺産の情報発信等を行う拠点施設の北海道への要望
について

(文化財課 21-3465)

縄文世界遺産の情報発信等を行う拠点施設の北海道への要望について

このことについて、下記のとおり経済団体等に函館市も同行し、北海道知事へ要望を行ったので、お知らせいたします。

記

1 日時

令和4年(2022年)9月26日(月)10時30分

2 経済団体等

函館商工会議所、道南縄文文化推進協議会、函館東商工会、函館市亀田商工会、北斗市商工会および七飯町商工会

3 応対者

鈴木直道 北海道知事

森隆司 環境生活部長 塚田みゆき 文化局長

4 経済団体の要望書の内容

別添のとおり(市は要望書には連名していない)

5 内容

函館商工会議所久保会頭から鈴木知事に対し、要望書を手交し、「函館市に縄文世界遺産の活用に向けた拠点施設を設置」の要望をした。

また、市としても「北海道による世界遺産の拠点施設の函館市内への設置を希望しており、設置場所の選定や提供などについて、市議会とも相談しながら協力を検討したい。」と伝えた。

鈴木知事からは「本日の要望の趣旨は理解させていただいた。本年5月に北海道で設置した、拠点機能のあり方に関する懇談会で今年度末までに、具体的な機能や枠組みなどについて考え方を整理していく。この内容を踏まえて、世界遺産の構成資産のある市町などから意見をいただきながら、検討を進めたい」とのコメントがあった。

北海道知事

鈴木直道様

縄文世界遺産の活用に向けた拠点施設の
設置に関する

要 望 書

令和4年9月



函館商工会議所 道南縄文文化推進協議会
函館東商工会 函館市亀田商工会
北斗市商工会 七飯町商工会

縄文世界遺産の活用に向けた拠点施設の設置に関する要望

昨年7月、長年の念願であった「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録が実現いたしました。17構成資産のうち6構成資産を有する北海道として、今後の普及活動と地域振興に向けた、情報発信、調査・研究、人材育成等を一元的に行う「縄文世界遺産センター」のような拠点施設の設置が求められます。

今後、北海道における縄文世界遺産の活用においては、北東北3県との連携が一層重要となるなか、函館は、新幹線を利用して本州から北海道を訪れる方々の玄関口となり、道内の構成資産を巡る旅の出発点となっています。また、北海道唯一の国宝「中空土偶」を有し、拠点形成において重要な役割を果たす地域となります。このため、道内における拠点施設の設置箇所は、函館市内であるべきと考えております。

こうした状況等を踏まえ、函館市に縄文世界遺産の活用に向けた拠点施設を設置するよう、要望いたします。

令和4年9月26日

函館商工会議所 会頭 久保 俊幸

道南縄文文化推進協議会 会長 境 勝 則

函館東商工会 会長 中市 敏樹

函館市亀田商工会 会長 三浦 理

北斗市商工会 会長 宮崎 高志

七飯町商工会 会長 川又 修治